

記憶にとどめたい…

等々力キャンパスの 愛されスポットの巻

閑静な住宅街の中にある等々力キャンパスは、もともとは東横学園女子短期大学の校舎でした。本学と同短期大学の統合により東京都市大学へと発展した2009年4月以降は、都市生活学部と人間科学部のキャンパスに生まれ変わり、先進的な修学環境のもとで多くの優秀な人材を輩出してきました。しかし現在進行中の「東京都市大学キャンパス再整備事業」に伴い、両学部とも2022年春から世田谷キャンパスへ移転。学生たちは新たな環境に期待を寄せていますが、中には通い慣れた等々力キャンパスとの別れを寂しがらる声も……。そこで今回は同キャンパスでの思い出が色褪せぬように、学生たちにとくに愛されたスポットを写真でご紹介。素敵な学舎の記憶をいつまでもとどめてください。

1号館と2号館の共通エントランス。
パラソル付きのテーブルが並び、手前の
噴水には綺麗な鯉が泳いでいました。



二子玉川



2号館の階段踊り場の窓から見える
景色。二子玉川が近く、天気の良い日
は横浜ランドマークタワーも綺麗に
見えます。

東急大井町線の等々力駅から徒歩で
約10分。駅からはゆるい登り坂が続
き、いい運動になりました。

どこか愛らしい小菅公(菅
原道真の幼少期)の像が
見守ってくれました。



1号館 保育者養成のための施設が充実

等々力キャンパスの中で一番長い歴史を持つのがこの1号館(3階建て)。主に人間科学部の学生たちが実践的な学修を進めるための教室や関連施設が設置されています。入ってすぐ右手にある「学科事務室」は、等々力キャンパスのすべての学生たちの駆け込み寺のような存在で、ここの職員さんのお世話になっていない人はいないほど。医務室があるのもこの棟です。

子どもの表現方法を学修 図画工作室



教室には学生たちが
制作した作品も数多く
展示。プロ顔負けの完
成度です。



子どもに絵画や工作を教えるときの理論やス
キルを、実践的に学ぶための教室です。子ども
の表現に隠された意味も学ぶことができます。
教室にははろくろもあります。



頼れるお姉さんたちが常駐 学科事務室

学生生活のあらゆる相談に
乗ってくれた職員さんたち。
3号館の事務局に行くより近い
からと、授業の合間に訪れる学
生が多数でした。



完全防音で思い切り練習できた ピアノ演習室

31の個室に35台のアップ
ライトピアノを設置。人間
科学部の学生は、授業以
外でも予約すれば使用可
能でした。

